

日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

1. 基本情報	
(1) 案件名	バゴー郡区における住民による地場産業振興のための能力強化事業 Strengthening the capabilities of local woodcraft communities for the promotion of local industry in Bago township
(2) 事業地	ミャンマー国バゴー地方域バゴー郡区
(3) 贈与契約締結日 及び事業期間	・贈与契約締結日：2019年2月15日 ・事業期間：2019年2月15日～2019年12月14日
(4) 供与限度額 及び実績（返還額）	・総支出：8,408,659円（未確定）
(5) 団体名・連絡先, 事業担当者名	(ア) 団体名：特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク 【法人番号：5110005014979】 (イ) 電話：025-282-7440 (ウ) FAX：025-282-7441 (エ) E-mail： (オ) 事業担当者名：大場 寛之
(6) 事業変更の有無	事業変更報告の有無：有 (ア) 報告日：2019年9月21日 内容：経費配分の変更（資機材購入費等） (イ) 報告日：2019年10月23日 内容：経費配分の変更（本部スタッフ派遣費）

2. 事業の概要と成果																	
(1) プロジェクト目標の達成度	バゴ-木工技術センターの改修と同センター運営委員会の発足が完了し、地域の木工生産者向けに継続的な研修・講習が行える環境が整備された。研修・講習に参加した生産者は品質や生産性向上に係る技術を習得し、海外向け製品を生産できる工房が増加した。																
(2) 事業内容	<p><u>アウトプット1：技術センター運営委員会による研修実施体制を整備する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> バゴ-木工技術センター（以下、技術センター）の運営委員会（以下、委員会）の発足に必要な合意および契約が完了し、地域住民による活動が開始した。 委員会メンバーは、2019年4月30日の第1回会合以降、事業期間内に計6回の会合を開催し、技術センターの内装工事、機材調達、研修テーマなどについて主体的に協議を行った。【別添2：活動実績表】 <p><u>アウトプット2：技術センターを現地に即した設備・研修環境が整った施設へ改修する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年4月、技術センターの改修を開始し、委員会事務所およびレーザー室の整備が計画通りに完了した。同事務所は、上述の委員会会合等による利用が開始した。 同5月、技術センターにおいて、バンドソー、バンドソー鋸刃溶接機、排気ろ過装置、ろくろ、小型研磨機など機械設備および、作業台や整理棚など什器について、調達・設置を開始し、計画通りに完了した。一部機械設備・什器の種類、数量について、事業変更報告により変更した。【別添3：センター設備リスト】 <p><u>アウトプット3：工房主向けスキルアップ研修を実施する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年3月、バゴ-市内の木工品生産地区の木工工房を対象に、工房の規模、生産品目、使用設備などを調査し、86工房のマッピングが完了した。 改修および設備拡充が完了した技術センターを会場に、ミャンマー人の熟練生産者を講師として、地域の木工品生産者向けスキルアップ研修を3回実施した。日程、テーマ、参加者数は下表の通り。 各回の研修でテキストを制作し、製本した。研修の様子は、当会スタッフにより動画撮影し、将来的に活用できるよう記録を残した。 <p style="text-align: center;">表1 スキルアップ研修実施記録</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日程*1</th> <th>テーマ</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7月21日～ 8月2日</td> <td>サンディング基礎（課題：箸置き）</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8月26日～ 9月6日</td> <td>連続した曲線の加工：カットティング、サンディング（課題：スプーン）、生産性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9月30日～ 10月11日</td> <td>直線を意識した加工：カットティング、サンディング（課題：箸）、生産性</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*1) 事業申請時には、5日間×1週を想定していたが、工房調査および委員会会合を経て、2週、10日間の研修とした。</p> <p><u>アウトプット4：現地で利用可能な木材乾燥機を開発し、工房主向けに普及モデルを提示する</u>／<u>アウトプット5：防塵対策研修を実施する</u></p>	回	日程*1	テーマ	参加者数	1	7月21日～ 8月2日	サンディング基礎（課題：箸置き）	3	2	8月26日～ 9月6日	連続した曲線の加工：カットティング、サンディング（課題：スプーン）、生産性	8	3	9月30日～ 10月11日	直線を意識した加工：カットティング、サンディング（課題：箸）、生産性	4
回	日程*1	テーマ	参加者数														
1	7月21日～ 8月2日	サンディング基礎（課題：箸置き）	3														
2	8月26日～ 9月6日	連続した曲線の加工：カットティング、サンディング（課題：スプーン）、生産性	8														
3	9月30日～ 10月11日	直線を意識した加工：カットティング、サンディング（課題：箸）、生産性	4														

- 日本人専門家を2019年3月14日～22日、11月5日～22日の2度、現地派遣した。
- 3月、日本人専門家の指導により、電力式の木材乾燥機の試験機を製作した。製作にあたり同専門家は、事業地の自然環境や社会環境について情報収集したほか、事業地で入手できる資材の調査も行ったうえで、仕様を確定させた。完成した試作機を用いて、事業期間において3週間×5回の木材乾燥試験を実施した。試験方法は、同専門家の監修の下で定められ、現地派遣期間において当会スタッフ向けに試験実施に向けた指導を行った。
- 3月～11月において、日本人専門家は木材乾燥試験の結果分析や講習準備のため、日本で業務協力を行った。
- 11月、日本人専門家の指導により、木材乾燥試験の結果を踏まえて、電力式および火力式の木材乾燥機の普及型モデル機を製作し、技術センターに設置した。本事業期間中において、ミャンマー全国で電気料金が改定、大幅に値上がりし、電気代が生産者にとって乾燥機導入の阻害要因となる可能性が高まったため、火力式の普及モデルも開発した。
- 11月、日本人専門家を講師として、木材乾燥、防塵対策をテーマにした講習を1日間実施した。木材乾燥および防塵対策について、必要性から具体的な方策まで紹介し、普及促進を行った。
- 11月、上述の講習に参加した当会ミャンマー人スタッフを講師として、木材乾燥、防塵対策をテーマにした講習を1日間実施した。日本人専門家は、講習の前後において、講習実施方法について指導と助言を行った。
- 木材乾燥講習、防塵対策講習それぞれについて、テキストを制作し、印刷した。

表2 技術講習実施記録

回	日程	講師	テーマ	参加者数
1	11月14日	日本人専門家	木材乾燥・防塵対策	13
2	11月20日	当会ミャンマー人スタッフ	木材乾燥・防塵対策	7

アウトプット6：事業実施の中間成果物を取り纏める

- 3回のスキルアップ研修、木材乾燥講習、防塵対策講習について運営マニュアルを制作した。各研修・講習の運営の要点は共通しているため、汎用的に使用できるものを作成した。

アウトプット7：技術センターの次年度実施計画を策定する

- 2019年12月12日に開催した第6回委員会会合において、技術センターによる2020年の活動計画を立てた。

アウトプット8：Asia Modern Crafts社より取引情報の提供を受け効果測定を行う

- 事業終了後、Asia Modern Crafts社より提供の取引情報を確認し、新規に海外向け製品が生産できるようになった工房を確認した。結果は後述の成果の項を参照されたい。

(3) 達成された成果

成果1：バゴー木工技術センターで工房向けの技術講習が継続的に実施される体制が整う。

指標：

1. バゴー木工技術センターの改修が完了し、現地の木工品生産者が参加するスキルアップ研修に使用できる機械設備が導入された。

	<p>2. 3回のスキルアップ研修および2回の防塵対策研修に、のべ35名が参加した（目標50名、指標達成度：70%）。参加者アンケート結果よりスキルアップ研修の理解度は93%、防塵対策研修の理解度は92%であった（どちらも、目標80%、指標達成度：100%）。【別添4：理解度集計表】</p> <p>3. 3回のスキルアップ研修、木材乾燥講習、防塵対策講習について、運営マニュアル、講習テキストが制作された。</p> <p>4. 2019年度の運営委員会の事業計画が立案された。</p> <p><u>成果2：木工工場の生産性が向上し、海外向けの高品質な製品を生産できる工房が増える。</u></p> <p>1. 木材乾燥設備の普及モデルが完成した。</p> <p>2. 乾燥技術講習に20名が参加した（目標20名、指標達成度：100%）。参加者アンケート結果より理解度は76%であった（目標80%、指標達成度：95%）。【別添4：理解度集計表】</p> <p>3. 木材乾燥設備の普及モデルが、1件の工房で導入された。</p> <p>4. Asia Modern Crafts社の発注工房数が9件から10件となり、11%増加した。（目標10%、指標達成度：100%）</p> <p>SDGs目標：本事業は、バゴー郡区の木工品生産者に対して、生産技術の向上、防塵対策による労働衛生環境の改善などの成果を収めた。よって、SDGs目標4のターゲット4.4「2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる」への寄与したと考える。さらに、目標8のターゲット8.2「経済生産性の向上」、目標9のターゲット9.2「産業セクターの比率増進」にも小規模ではあるが、寄与したと言える。加えて、本事業の波及効果として、貧困削減、良質な教育機会の獲得、経済成長と労働機会の創出、産業育成と技術革新なども期待できる。</p>
(4) 持続発展性	<p>本事業で改修、整備した技術センターについては、本事業により発足した運営委員会が中心となって、維持・管理を行う。また、スキルアップ研修、木材乾燥講習、防塵講習については、本事業により将来にわたって活用できる教材開発を行ったほか、研修の運営マニュアルの整備も行い、将来的な開催の手引きとして活用が見込まれている。</p> <p>さらに当会では、令和元年度N連事業によって、当該コミュニティにおいて1年間の後継事業を実施することが確定しており、同事業によって、生産者人口の維持・拡大に向けた新たな課題に取り組み、木工品産業が地域の特色ある産業としてより持続的に発展できることを目指している。</p>

3. その他	
(1) 固定資産譲渡先	本事業において、機械設備およびバイクの購入を行ったが、令和元年度事業の実施が確定しており、同事業により当会監督の下で継続的に活用される。譲渡・引き渡しについては、同事業完了時の報告とする。
(2) 特記事項	<p>現地政府との調整等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業期間内において、カウンターパートである、農業灌漑畜産省・小規模産業局（以下、SSID）への月次報告書を遅延なく提出した。 ● 事業期間内に4回のネピドー出張を実施し、SSIDとの面会を実施した。 ● 2019年8月、連邦政府資源環境大臣オウンウィン氏、バゴー地方政府森林大臣ソーニョーウィン氏、ミャンマー木材公社総裁ソージョンシュエバ氏が技術センターの視察に来訪した。 ● 2019年11月、本事業期間中に着任したSSID長官エーナイン氏が、当会バゴー事務所および技術センターの視察に来訪した。

完了報告書記載日：2020年3月10日

団体代表者名：特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク

理事長 斎藤 秀一（印）

【添付書類】

- ① 事業内容、事業の成果に関する写真（別添1）
- ② 日本NGO連携無償資金収支表（様式4-a）
- ③ 日本NGO連携無償資金使用明細書（様式4-b）
- ④ 邦貨換算レート表（様式4-b別紙）
- ⑤ 人件費実績表（様式4-c）
- ⑥ 一般管理費等 支出集計表（様式4-d）
- ⑦ 外部監査報告書
- ⑧ 銀行口座通帳の写し
- ⑨ 活動実績表（別添2）
- ⑩ バゴー木工技術センター設備リスト（別添3）
- ⑪ 理解度集計表（別添4）

(別添1)写真報告書

団体名： 特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク
案件名： バゴー郡区における住民による地場産業振興のための能力強化事業

【アウトプット1】技術センター運営委員会による研修実施体制を整備する



第2回運営委員会会合の様子と参加する当会日本人スタッフ(2019年5月、写真中央奥)

【アウトプット2】技術センターを現地に即した設備・研修環境が整った施設へ改修する



技術センター全景



事務所スペース設置工事(2019年3月)



設置が完了した機械設備(2019年11月)



設置が完了した機械設備(2019年11月)













機械設備を利用する地域住民(2019年11月)

【アウトプット3】工房主向けスキルアップ研修を実施する



工房調査を行う当会スタッフ(2019年3月)

Workshop Profile Sheet		
No. 58	STH - 5	Workshop Outside
ID	Ko Win Min Thar	
(Contact Person Name)		
Tel No.(1)	09-957330209	
Tel No.(2)		
Address:	Mar St,	
	Shwe Thar Hlaung Ota,Bago	
Available Items		Owner
Fork, Spoon		
Chopsticks		
Cups		
Plate, Dishes		
Others	<input checked="" type="checkbox"/>	
Number of workers	4	
Machines	 	
Products	  	Map
	  	
Input Date:	25-Mar-19	

工房調査結果の一例(2019年3月)



第1回スキルアップ研修に参加する木工品生産者ら(2019年7月)



第2回スキルアップ研修で参加者が製作した実技課題(2019年8月)



第3回スキルアップ研修で講師を務める熟練生産者
(2019年9月、写真右から2人目)

【アウトプット4】現地で利用可能な木材乾燥機を開発し、工房主向けに普及モデルを提示する／【アウトプット5】防塵対策研修を実施する



当会理事長より技術センターの説明を受ける日本人
専門家(2019年3月、写真右)



木材乾燥機の試作機:ボイル層(2019年3月)



木材乾燥機の試作機:乾燥ボックス(2019年3月)



木材乾燥試験:ボイル(2019年3月)



木材乾燥試験：乾燥ボックス(2019年3月)



現地資材を調べる日本人専門家(2019年11月)



木材乾燥機の普及型モデル：電力式(2019年11月)



木材乾燥機の普及型モデル：火力式と説明を行う当会理事長(2020年1月、写真左)



木材乾燥・防塵対策講習で講師を務める日本人専門家(2019年11月、写真中央)



木材乾燥・防塵対策講習で講師を務めるミャンマー人スタッフ(2019年11月、写真右奥)



木材乾燥機を工房に新設した木工品生産者(2020年1月、写真左端)



マスクを着用して作業を行う木工品生産者(2020年2月)

【アウトプット6】事業実施の中間成果物を取り纏める



スキルアップ研修テキスト(2020年3月)



木材乾燥、防塵対策講習のテキスト(2020年3月)



研修・講習運営マニュアル(2020年3月)